

平成16年のインフルエンザのワクチンについて

接種スケジュール

- ・10月中頃より接種の準備が整います。2回目の接種は、1回目の接種から4週間程度の後がよいです。
- ・1回目が10月末から11月半ば、2回目接種を11月末から12月中頃に受けられるようにスケジュールを立てて下さい。
- ・以下の日程でインフルエンザのワクチン接種だけの専門外来を設けます。

10月30日, 11月13日, 11月20日, 12月4日, 12月18日

- ・時間はいずれも 午後2:00 ~ 3:30です。
- ・毎週水曜日午後からの予防接種時間でも、接種の予約を取ればインフルエンザのワクチン接種は可能です。また通常の診療時間でも接種はお断りはしませんが、なるべく上記の専門外来をご利用下さい。

価格

子ども(小学6年生まで)	1回	¥2500
大人	1回	¥3500

- ・親子で受けていただくと、お会計の総額より1回¥500引かせていただきます。この機会になるべくご家族で接種して下さい。
- ・インフルエンザワクチンの70歳以上の公費は使えません。大人料金で接種いたします。

注意事項

- ・インフルエンザのワクチン接種をして蕁麻疹などの副反応がでた方は、必ず事前にお申し出下さい。
- ・不明な点は説明いたしますので、必ずすべての事柄を理解してから接種を申し込んでください。

よく頂く質問と答え

【質問】どの時間帯にインフルエンザのワクチンを受けに来るのがお勧めですか。

【答え】次の順番になります。

- (1) インフルエンザの予防接種だけの専門外来(上述)
- (2) 水曜午後の予約制の予防接種外来
- (3) 通常の診療時間

- ・しかし、あらためて出直されるくらいなら、通常の診療時間にも接種を行いますので、その際は受付でインフルエンザのワクチン接種も受けたいとお申し出下さい。

【質問】接種回数は2回必要ですか？

【答え】分かりやすく説明すると、小学生は以下は2回、中学生以降は1～2回と考えていただくと良いと思っております。

【質問】1歳以下のお子さんへの接種はどうですか。

【答え】1歳以下のお子さんは予防効果が高くありませんが、希望される場合は生後6ヶ月より接種は可能です。

- ・集団接種のポリオやBCGの接種を優先して下さい。ポリオ、BCG接種の後、4週間後に受けられます。
- ・1歳以下のお子さんがあるご家庭では、家族全員が接種される事をお勧めします。

【質問】麻疹のワクチンが未だですが、どちらを先にすればいいですか

【答え】1歳程度のお子さんは、効果を考えるとインフルエンザのワクチンよりも、麻疹ワクチンの方が大切だと思います。

- ・生後1歳半以降でまだ麻疹のワクチンを受けておられない場合は、先に麻疹ワクチンを受けることをお勧めします。この場合、麻疹ワクチン接種後4週間は他のワクチンを受けることができませんから、流行にさしかかることも考えられます。ご相談の上、決めさせていただきます。

【質問】他のワクチンも受けたいのですが、どちらが先がいいですか。

【答え】希望されるワクチンが生ワクチンなら、インフルエンザワクチンを先に受けて、翌週に希望されるワクチンが良いと思います。

- ・ただし、未了のワクチンが多い場合は、年齢や必要性を鑑みインフルエンザよりも他のワクチンを先に勧める場合があります。

【質問】どれくらい間隔を空ければ良いのですか。

【答え】インフルエンザワクチンは不活化ワクチンなので、接種後1週間経過すれば次のワクチンが受けられます。

- ・インフルエンザワクチンの前に受けたワクチンが、不活化ワクチンなら1週間、生ワクチンなら4週間の間隔を空ける必要があります。

【質問】卵のアレルギーがある子どもはどうすればいいでしょうか。

【答え】卵などの除去食を指導されている患者さんは、安全のために指導された医療機関で接種を受けて下さい。

【質問】2回目のワクチンは残しておいてもらえるのですか。

【答え】原則としてお一人ずつ2回目の接種のための取り置きをしているわけではありません。ワクチンが無くなった時点で接種を中止いたします。

- ・特に12月18日までに2回目の接種にお越しにならない場合は、新規のワクチン接種希望者に残っているワクチンを回します。ワクチンが一人でも多くの方が受けられるようにご理解をおねがいたします。

【質問】インフルエンザの治療薬があるけれども、ワクチンを受けた方がイイ？

【答え】その通りです。インフルエンザの治療薬には耐性化（お薬が効かなくなる）も懸念されており、まずはワクチン接種で罹患を防ぐべきです。

【質問】流行している株と一致しないと効果がない？

【答え】その通りです。しかし流行と外れた事はほとんどありません。そもそも接種しても罹患する場合があります。特にお子さんでは幼いほど予防効果は低くなる傾向があります。

【質問】鳥インフルエンザには効果がありますか？

【答え】ありません。鳥のインフルエンザが人間に感染することが報道されていますが、それは大変珍しいことです。鳥の間で流行しているインフルエンザが変異を起したときに初めて人間の間で大流行（パンデミック化）するようになります。

【質問】例年の葉書の案内はいつ書くのですか。

【答え】当院で2回目の接種時に、来年のインフルエンザのワクチン接種の案内のお葉書をお渡しします。来年も案内がもし必要でしたら、2回目の接種時に住所を書いてスタッフにお渡し下さい。

西藤こどもクリニック
HP <http://www.kodomo.co.jp>
Tel. 077-583-2950
FAX 077-583-4248